

トルコ：薬物容疑のラッパーに無罪

トルコの新世代ラッパー・Ezhele（エズヘル。本名：セルジャンイペクジオール）さんが薬物使用を呼びかけたとして罪に問われていた裁判で、イスタンブールの裁判所は6月19日、証拠不十分で無罪を言い渡しました。

Ezheleさんの逮捕と起訴に対して、SNS上に抗議の声が殺到し、数千人がハッシュタグ#FreeEzheleで彼の釈放を要求しました。ツイッターのハッシュタグとしては、トルコ国内で最大級の注目度でした。

—昨年7月のクーデター未遂事件以来、非常事態宣言下で、表現の自由が厳しく規制されてきた中で、この無罪は、画期的な判決でした。判決後、Ezheleさんは、アムネスティとその支援者に感謝の言葉を送ってきました。

「今回の無罪は、皆さんの支援と連帯があったから実現しました。いつも支えてくれた皆さんに深く感謝します」。



イラン：不屈のバス運転手、やっと自由の身に

不当な容疑と裁判で6年間投獄されていたバス運転手のレザ・シャハビさんが3月13日、刑期満了でようやく釈放されました。

バス運転手の組合などで労働者の権利擁護に熱心に取り組んでいたシャハビさんですが、2010年から9カ月間、情報省に拘束され、さらに2012年には、治安の脅威に関わる複数の罪で計6年の刑を言い渡されました。情報省下での拘束時には、係員らに暴行され、半身が麻痺しかけたことも

ありました。不当な裁判の末に投獄された刑務所でも、怪我や体調不良に対して十分な治療を受けることもできませんでした。不十分な治療と劣悪な刑務所環境の改善を求めて何度もハンストを行い、一時は、刑務所外で治療を受けたこともありましたが、しかし、申し立てていた集団的な暴行の訴えに敗訴したことで、昨年8月、再び刑務所に戻されていました。そして、今回、刑期満了でようやく自由の身となったのです。

アムネスティは、長年シャハビさんの支援活動をしてきましたが、これで一旦、活動を停止いたします。

イスラエル：「良心の囚人」を釈放

6月6日、抗議デモに参加しただけで投獄されていたパレスチナ人の人権擁護活動家、ムンサー・アミラさん（48才）が、釈放されました。

アラミさんは今年3月、複数のデモに参加したことが、公的秩序の侵害や無認可デモの参加などにあたるとして、実刑6カ月と保護観察5年、罰金2,000イスラエル・シケル（およそ6万円）を言い渡されました。

パレスチナ難民としてベツレヘム近郊の難民キャンプに住むアミラさんは、大衆闘争調整委員会のコーディネーターを務めてきました。

国際基準では、無認可のデモに参加しても罪にはなりません。また、アラミさんが収監された刑務所がイスラエル国内にあったというのも、「被占領地の被拘禁者は、被占領地内で拘禁する」と定めるジュネーブ条約に違反していました。

6月7日、アミラさんからアムネスティにメッセージが届きました。「獄中での生活はとてつとめひどかった。でも、皆さんの支援が私を強くしてくれた・・・パレスチナの人権活動家として、イスラエルの占領が終わるまで、非暴力の闘いを続ける」と。「ラマダンや宗教上の休日を自宅で妻や子どもたちと過ごせるのは、とてつとめうれしい」と家庭人としての素顔も見せていました。

インド：MEMCHAさんらへの脅迫にストップを！

インド北東部のマニプール州に住むサリマ・MEMCHAさん（39才）は2010年、夫を亡くしました。治安当局による裁判なしの超法規的処刑とみられています。同州ではこの年、同様の殺害事件が数件、発生していました。MEMCHAさんは、同じように身内を亡くした人たちと「超法規的処刑遺族の会(EEVFAM)」を結成し、当局によるとみられる殺害事件を調べました。そのためか、MEMCHAさんやEEVFAMの活動員は、嫌がらせや脅しを受けました。

そんな圧力にもめげず、MEMCHAさんたちは、最高裁に自分たちが調べた殺害事件の加害者への令状の請願を申し立てました。そして、最高裁は昨年7月、中央捜査局に対して、マニプール州であった90件あまりの超法規的処刑に対する捜査を命じました。現在もその捜査が進んでいます。

しかし、嫌がらせや襲撃は、増えるばかりでした。今年4月には、MEMCHAさんは、警官ら数人に自宅の一部を破壊され、「活動を止めろ」と脅されました。

私たちも、ビレン・シン州首相に、MEMCHAさんとEEVFAMの人たちへの暴力や脅しの排除と加害者の裁きを求めたいと思います。ぜひ、ご協力ください。

ハガキと切手をご用意いただき、ハガキのおもて面には下の「相手先と所在地」を、裏面には「要請文」を書き写して、投函してください。

◆相手先と所在地

Nongthombam Biren Singh
Chief Minister of Manipur
Manipur CM Office,
Secretariat, Imphal, Manipur,
India, Pin Code – 795001



◆要請文

Dear Chief Minister of Manipur;
Please ensure an end to the intimidations and attacks against Salima Memcha and EEVFAM and bring those responsible to justice.

エジプト：夫の行方を探す家族に支援を！

ハナン・バドル・エルディンさんの夫は、5年前、何者かに連行されたまま、行方不明になりました。エジプトでは、警察など治安機関に連れ去られた後、行方不明になった人が何百人もいます。

ハナンさんは、自ら夫探しを始め、また、身内に同様の被害者がいる人たちと被害者の会を作り、行方不明者を探し出す活動を進めてきました。

ところが昨年5月、活動の一環で刑務所を訪れると、違法団体の会員だという事実無根の容疑で、拘束されてしまったのです。裁判所が勾留の更新を認め、今も拘束されたままです。

ハナンさんに私たちの連帯の言葉を送って、彼女を勇気づけましょう。以下のカイロ法務センター気付でお送りください。ぜひ、ご協力をお願いします。

◆送り先：ハガキの表

Hanan Badr el Din
c/o Halim Henesh
Cairo Center for Law
4a Al Saraya Al Kobra street, flat 2,
Garden city, Cairo
Arab Republic of Egypt



◆送る言葉：ハガキの裏

We are all Hanan Badr el-Din.

حنان يا امعالي كلنا

(同じ意味のアラビア語。切り取り、貼付けてください)

UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本